

## 太田さんとの3回の関わり

陳 媚 CHEN MEI

富士ゼロックス㈱ラフィネ小豆沢寮

明治学院大学

太田さんの訃報を突然に受け取った際に、大変驚きました。2019年11月の活動でなんの異常もみられなかった人が、ただ4ヶ月後にこの世から去ることをどうしても信じられませんでした。とても悲しく感じます。

社員寮に入居するきっかけで、太田さんに出会いました。今年、社員寮に入居する3年目になりますが、太田さんと会うのが3回しかありませんでした。2018年7月の入居説明会、2018年11月の出張授業と2019年11月のカルビー・日光東照宮・首都圏外郭放水路の見学の3回です。

太田さんとの第一回目の関わりは2018年7月の入居説明会です。この説明会でどんな立派な人と出会うのか、自分の下手な日本語でうまく意思表示できるのかなど、出席する前に不安や緊張な気持ちを抱えていました。実際に参加して、太田さんや渡辺さんと私たち留学生は机を囲んで、お弁当を食べながら、自己紹介を交わしました。説明会の雰囲気柔らかく、不安な気持ちも解消されました。また、太田さんは友だちのように、留学生の一人と一緒に喫煙所でタバコを吸ったりしました。このような上下関係にこだわらないやり方に驚きながら、感心しました。この説明会で、私たちは太田さんに、「困ったことがあったら、どんなことでも私たちと相談して」と言われました。支援協会は住居サポートに止まらず、留学生活のあらゆる面をサポートしてくれることを感じました。ここは私たちを心強くしてくれる拠り所だと思いまいました。

そして、太田さんのお勧めで、2018年11月の出張授業に参加しました。しかし、授業テーマの設定に失敗し、生徒の反応が薄く、授業にいい結果を得られませんでした。太田さんは落ち込んでいた私に、「授業の内容より、自分を盛り上げることが大切だ。自分を盛り上げれば、その熱意もきっと生徒たちに伝わるからね」と言いました。その助言を踏まえて、今年の出張授業でもう一回チャレンジしたいと思いますが、コロナの感染拡大で、活動の実施が非常に懸念されます。

太田さんとの第三回目の関わりは、一年後のカルビー・日光東照宮・首都圏外郭放水路の見学です。一年間も会わなかったのに、太田さんは私の名前、学校、学年、入居している寮まで覚えていて、これから進路のことについても相談に乗ってくれました。私のような影が薄い人のことでも、そこまではっきり覚えてくれて、心がとても温かく感じます。また、東京駅前で解散した時に、太田さんに「管理人さんに送るお土産が買った？」と聞かれました。無言な私を見て、太田さんはご自身のお土産の分まで私に分けてくれました。日本での学業や進路から、生活や人との関わり、礼儀に至るまで、考えてくれるのは太田さんです。

この追悼文に、思い出として太田さんの写真を入れようと思いました。しかし、アルバムを探しても、太田さんをはっきり映している写真を一枚も見つかりませんでした。あったのはこのこっそり撮った写真しかありません。参加



した活動限りに、確かに太田さんは一度も集合写真に入ったことがなく、いつも後ろで支えてくれます。

いつも支えてくれてありがとうございます。これからも、一心不乱に学業に励むことを決心します。ご冥福をお祈り致します。